



## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の基本理念を「日本の心臓部、京浜工業地帯・神奈川県に働く人々の生活の安定と向上、文化の創造的な発展のために、そしてとりわけ、働く女性と子どもたちのために最善を尽くします」とし、基本方針は「子どもたちの『今、ここに生きる』を大切にし、一人一人が『かけがえない存在』と感じて、自信をもって生きていく力を育てます」を掲げ、利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・保育の生活、遊びの様々な場面で、子ども一人一人の自主性や成長を見守りながら子どもに寄り添い、基本方針に沿った保育活動をしています。</li> <li>・保育課程は理念の「子どもたちのために最善を尽くします」と基本方針の「子どもたちの『今、ここに生きる』を大切に」を基に、家庭状況を含めた地域の実態、環境等を考慮し、子どもの最善の利益を重視して作成しています。</li> <li>・保育課程に基づき、3～5歳児は年齢ごとに年間・月間指導計画と週案を作成しています1、2歳児は年齢ごとに年間・月間指導計画と個別指導計画、週案を作成しています。</li> <li>・日常の保育では、子どもの主体性を尊重して子どもの意見や要望を聞き、子どもの状況に合わせて月の途中でも計画を柔軟に変更して対応しています。</li> </ul>
<p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園までの生育歴や家庭での状況は、入園前に提出してもらう児童票や健康台帳など事前提出書類と、入園説明会終了後の個人面談で把握しています。個人面談には、子どもも一緒に来てもらい、子どもが遊ぶ様子や活動の様子を観察し、新入園児面接記録票に記録しています。提出書類と面談記録から子どもの状況を把握し、職員会議で情報を共有し、日常の保育に活かしています。</li> <li>・「慣らし保育」については入園説明会で説明し、保護者の就労状況や子どもの様子、家庭の状況を考慮して柔軟に対応しています。</li> <li>・1歳児は、シフトで職員が変わっても子どもが安心できるように、子どもとの関わりの中で相性の良い職員が主になるよう配慮しています。</li> <li>・1～2歳児の個人別保育連絡ノートで、園と家庭が一体となって子どもの成長を見守ることができるように、生活リズム、食事、排泄、睡眠、体温、家庭での様子、園での様子を伝え合っています。</li> <li>・指導計画は、担任職員同士で子どもの発達や状況について話し合い、またカリキュラム会議などで他のクラスの職員の意見も聞き作成しています。</li> <li>・保護者の意向は、毎日の送迎時の会話、個人面談、クラス懇談会などで把握し、評価・見直しの時点で、必要に応じて反映させています。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・毎日職員が清掃チェック表に基づき定められた担当区分の清掃を行い、整理整頓に心がけ、園庭の猫の糞の点検、落ち葉拾いなども実施しており、園舎内外は清潔に保たれています。
- ・各保育室は園庭に面していて明るく、エアコン、温湿度計、加湿空気清浄器を備え、子どもたちにとって快適な温湿度となるようにしています。
- ・音楽や職員の声などについて、全職員は保育の環境と認識しており、声の大きさやトーンに気をつけて騒音にならないように配慮しています。
- ・温水シャワーの設備は園舎内に2か所、屋外に1か所あり、泥んこ遊びや砂場で汚れた後、散歩や昼寝で汗をかいたときなどに使用し、使用するたびに清掃しています。
- ・低年齢児の部屋は、子どもたちが分かりやすいように動線を考えてゴザやカーペットでスペースを設けるなど、使い方を工夫しています。乳児の保育室は、食べる・寝る空間を分けていますが、幼児の保育室は分かれていません。食事の後は手早く清掃して布団を敷き、部屋を暗くして安眠できる状態にしています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・1、2歳児は、個別指導計画を作成しています。
- ・幼児で特別な課題がある場合は、個別指導計画を作成してその内容を職員間で共有して、全職員で同様の対応ができるようにしています。また、配慮が必要な子どもについては、月間指導計画の個別配慮欄に必要事項を記載しています。
- ・個別指導計画は、その月の終了時に評価見直しを行い、見直した結果を次月計画に反映させています。個別指導計画の作成・見直しにあたっては、カリキュラム会議、乳児会議、幼児会議などで話し合いを持ち、他の職員からの意見も参考にしています。
- ・子どもや家庭の個別の状況・要望を新入園児面接記録票や入園後の個人面談記録票に記録保管し、日々の保育に活用しています。
- ・子ども一人一人の成長・発達の過程は、保育経過記録、指導計画、保育日誌、健康台帳等に記録し、全職員が共有できるようにしています。
- ・進級時には、保育経過記録に基づき、新旧担任間で申し送りを行っています。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

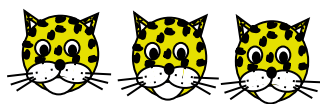


- ・園は特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れ、個別のケースについてカリキュラム会議で対応を話し合い、その内容を職員間で共有し、その記録を保管しています。
- ・各療育機関、横浜市、港南区などで開催される障害児保育研修に参加し、最新の情報を学んでいます。参加者は職員会議などで報告し、職員全員がその内容を共有して日々の保育に活かしています。
- ・保護者の同意の下に、地域療育センターの巡回相談で助言や情報を得て、毎月、障がい児一人一人の障がい特性に応じた個別指導計画を作成し、保育にあたっています。職員が障がい児に対して自然な対応をすることにより、障がい児と他の子どもとは自然な関わりができています。
- ・虐待防止についてのマニュアルがあり、虐待の定義については職員会議で学び、全職員に周知されています。
- ・毎朝の受け入れ時に体調の確認とともに注意深く観察し、虐待が明白になった場合や疑わしい場合は、職員は直ちに園長・主任に報告し、園として区の保健福祉センター、横浜市南部児童相談所に通報・相談する体制を整えています。
- ・アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医から「生活管理指導表」を受領し、それに基づき、園と保護者で話し合い対応しています。食物アレルギーについては対応マニュアルに基づき、職員会議、給食会議で必要な知識や情報を職員に周知させています。
- ・誤食防止のため前日園長と調理員が献立表を確認し、毎朝、園長、調理員、担任で再確認しています。保育室に運ぶときには調理員と担任が確認し、配膳時には2名の職員で再確認しています。専用のトレイ、食器、名札を使用し、机は他の子と別にしてしています。
- ・外国籍の保護者から文化や生活習慣などについて聞き、その違いを尊重し対応しています。そのうえで、職員は子どもたちが自然に仲間として受け入れられるように配慮しています。

### 評価分類


### 評価の理由（コメント）

### I-6 苦情解決体制



- ・入園説明会で園の苦情受付担当者・解決責任者、第三者委員について説明し、入園のしおりにも氏名・連絡先を記載しています。また、行事に第三者委員を招待して保護者に紹介し、第三者委員に直接苦情の申し立てができることを説明しています。
- ・保護者が苦情や意見・要望を出しやすくするため、ご意見箱を設置し、また、クラス懇談会や個人面談時に要望や苦情を聞いています。
- ・出された苦情・要望については苦情解決規定があり、職員に周知しています。
- ・園単独で解決困難な場合は、第三者委員を始め設置法人本部、顧問弁護士、横浜市こども青少年局保育・教育運営課などに相談する体制があります。
- ・また、外部の権利擁護機関として、横浜市福祉調整委員会と児童相談所のポスターを掲示し保護者に紹介しています。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 226 512 255">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもが自分のやりたいことができるように、手が届くところに手作りパズルやエプロンドレス、ブロックなどを置き、玩具は自分たちで出し入れしやすいように絵や写真で表示しています。</li><li>・成長発達に合わせて部屋の配置を見直し、ついたてやカーペットでコーナーを作り、遊びに集中できるような環境作りをしています。また、乳児クラスは大きなブロック、ぬいぐるみ、幼児クラスは小さなブロック、クレヨン、コマなど年齢に合ったおもちゃを用意しています。</li><li>・自由遊びでは、子どもたちは音楽に合わせて自由に踊ったり、コーナーでブロック遊びやお絵かきなどの制作を行うなど、それぞれの遊びに集中しています。一斉活動ではルールを守ることの大切さを子どもと一緒に考え、ルールを守ることが楽しさにつながることに気づけるようにしています。</li><li>・園庭でキュウリや枝豆、ナスなどを栽培しています。子どもたちは野菜の生長を楽しみ、収穫する喜びを味わい、取れた夏野菜でピザを作り、食育へとつなげています。年長児はカブトムシ、蚕を飼育しています。また、みかんの木の葉っぱで見つけた芋虫がアゲハ蝶になって飛び立つまでの成長過程を観察しました。保育室には図鑑や絵本を置き、散歩にはミニ図鑑を持参し、興味を持った時にすぐ調べられるようにしています。</li><li>・子ども同士のトラブルは、職員は双方の話をよく聞いて、年齢により相手の子どもの思いを伝えたり代弁したり、仲立ちして互いの気持ちに気づけるように援助しています。</li><li>・異年齢の活動を積極的に行っています。乳児クラスでは食事や昼寝を一緒に行い、幼児クラスでは全園児を14グループに分け、お楽しみ会や運動会などの行事にグループで参加しています。遊びの中で、小さい子は大きい子にあこがれを持ち、大きい子は小さい子から頼られる関係を築けるように、職員は子どもたちがうまく関わられるような配慮をしています。</li><li>・毎日園庭で遊び、天候や気候の良い時には積極的に散歩に行っています。鉄棒や大縄や短縄など日ごろから自由に遊べるようになっており、運動能力を高められるような遊びの環境を意識して作っています。</li></ul>

## II-1 保育内容[生活]



- ・子どもの食事は、職員が一定量を盛りつけしていますが、食の細い子どもには自分が食べることのできる量に減らすなどして、食べきる喜びを経験できるようにしています。
- ・無理強いせず、楽しくおいしく食べることを大切にしながらも苦手なものや初めての食材も経験できるように声かけをしています。
- ・栽培収穫した野菜を調理したり、子どもたちが給食食材の下ごしらえ（野菜の皮むき、サヤむきなど）を手伝い、とれた野菜でピザを作るなどのクッキング活動を行い、食への関心を持てるようにしています。
- ・楽しい雰囲気ですることができるよう季節の花をテーブルに飾ったり、バイキング形式にしたり、異年齢で食事したりしています。
- ・一か月に同じメニューが2度出るように献立が作られています。給食時に職員と一緒に食べて、喫食状況を把握し、残食を給食日誌に書いています。1度目で残食が多かった場合、2度目は食べきれるように刻み方や盛付け、調理方法を工夫しています。
- ・保育参加のとき試食会を開き、実際に子どもが食べている味を体験してもらい、また、子どもたちの食事の様子を見てもらうことにより、食事に関して家庭と連携がとれるよう配慮しています。
- ・眠れない子どもには職員が背中をトントンしたり、ねむくない子どもには無理に寝かせつけず 静かに横になって体を休めるように促したり、絵本を読んだりお絵かきをして静かに過ごせるようにしています。
- ・クラス懇談会でトイレトレーニングについての考え方や進め方の資料を配り、保護者と意見交換をして、保護者と密接な連携を取れるよう取って進めています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・健康管理マニュアルに基づき、健康台帳、健康ノートを作成し、一人一人の健康状態を把握しています。毎日の状況は、1、2歳児は連絡帳を通して食欲、排泄などを確認するとともに、担当職員は送迎時の保護者との会話と子どもを観察することで一人一人の状況を把握し、必要なことは担任に連絡しています。
- ・朝の受け入れ時から体調変化に留意し、発熱や体調不良時は、熱の有無だけでなく全身の状態により保護者に連絡してお迎えを依頼します。お迎え時に、保護者に園での状態を説明し、降園後の対応について話し合っています。
- ・食後の歯磨きは1歳児から始め、習慣化できるように進めています。歯科衛生士の保護者に依頼し、赤染体験（歯の磨き残りチェック）、ブラッシング指導をしてもらいました。
- ・健康診断は年2回、歯科健診、ぎょう虫検査（3、4歳児）、視聴覚検査（4歳児）を実施し、結果は健康台帳に記録し、健診の結果を保護者に健康ノートで伝えていきます。
- ・感染症対応マニュアルがあり、ほいくえんのしおりに登園停止等の感染症について記載し、保護者に周知しています。保育中に感染症の発生が疑わしい場合には、嘱託医に連絡し対応を確認するとともに、速やかに保護者に連絡してお迎えを依頼し、迎えが来るまで他の子どもから離れた場所で安静に過ごすようにしています。
- ・感染症が園内で発生したときは、発生したクラス、感染症名、人数などの状況を掲示し、保護者全員への周知を図り、感染症の拡大防止に努めています。
- ・感染症に関する最新情報は横浜市や港南区、設置法人の「保健衛生部会」から得ています。



## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・衛生管理マニュアルがあり、年1回設置法人の「保健衛生部会」で見直しを行います。マニュアルは事務室に置き職員がいつでも見られようになっています。
- ・マニュアルは入職時に職員に説明し、毎年感染症が流行する時期などに、全職員で嘔吐時の対応研修を行っています。
- ・日々、清掃チェック表に基づき、おもちゃの消毒や床、棚、トイレの清掃などを行っており、園内外は清潔な状態が保たれています。洗濯機、掃除機のフィルターは毎月末に交換、清掃しています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・安全に関するマニュアルがあります。安全管理に関して、マニュアルに基づき対応を職員会議で話し合い、職員間で周知しています。
- ・地震などを想定し、保育室のロッカーやタンスには転倒防止のフックや安全板を取りつけ、転倒防止策を講じています。
- ・緊急連絡先をリスト化して事務室に掲示し、緊急時に職員が誰でも連絡できる体制になっています。保護者への緊急連絡は、緊急時一斉連絡メールで行うことになっており、保護者に登録してもらい、避難訓練時にテストメールを送り緊急時に備えています。
- ・毎月1回避難訓練を実施し、消防署の指導訓練を受けています。
- ・職員は救命法の研修に参加しています。
- ・子どものけがについては軽傷であっても保護者に伝えるようにしています。引継ぎノートに記載し、担任がいないときでも伝えるようにし、場合によっては担任が残って伝えていきます。
- ・小さな事故やケガでも必ずヒアリハットに記録し、職員会議や昼礼で話し合い、再発防止、改善策について検討しています。
- ・園児通用門と園玄関はモニター付きオートロックで施錠され、モニターで訪問者を確認後開錠しています。保護者には必ず名前を告げてもらうよう取り決めています。
- ・警備保障会社と契約し緊急通報体制が確立されています。散歩時や園外保育のときは携帯の非常通報端末機を持参し、万一の時には警備保障会社に連絡して対応できるようになっています。また、合言葉を決めて不審者対応の訓練を年1回行っています。
- ・不審者情報は港南区子ども家庭支援課や園長会及び所轄警察署から得られるようにしています。

## Ⅱ－３ 人権の尊重



- ・職員は法人が作った「職員ハンドブック」（子どもに向う時の姿勢が書かれたもの）を会議で読み合わせ、子どもの人格を尊重した言葉使いや態度を話し合い、意識しています。
- ・日々の保育の中では子供が気軽に話せるように、関わり方や聴くときの姿勢を意識しています。また、子どもの性格を理解し、その子に合った対応を心がけています。
- ・必要に応じて事務室や保育室の一面につ立などを置き、友だちや保育士の視線を意識せず一人で過ごせる空間を用意しています。
- ・職員は採用時、ボランティアと実習生にはオリエンテーション時に個人情報の取り扱いや守秘義務について説明し、誓約書を提出してもらっています。全職員は個人情報の取り扱いについてのガイドラインが記載されている「職員ハンドブック」を持ち、職員会議で読み合わせと話し合いを行い、守秘義務について周知しています。
- ・保護者には入園時に、個人情報の取り扱いや「えんだより」などへの写真掲載について説明し、同意書もらっています。
- ・個人情報が記載されている書類は、事務室のキャビネットに施錠・保管し、外部への持ち出しを禁止しています。健康ノートなどの個人情報が含まれるお知らせは、専用の封筒を用意しています。
- ・日常の遊びや行事での役割、持ち物、服装、並びの順番、グループ分け、名簿の記載順番などで性別による区別をしていません。子どもや保護者に対して、「男の子だから、女の子だから」「父親だから、母親だから」という言い方をしないように気を付けています。
- ・性差を意識した保育をしないように、職員間で話し合うほか、無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で子どもへの対応を注意し合っています。



## Ⅱ－４ 保護者との交流・連携




- ・パンフレットや「ほいくえんのしおり」に保育方針を明記し、入園前の説明会や面談で園の方針や保育内容について説明しています。
- ・園だよりやクラスノート、降園時に子どもの様子を伝え、保育のねらいや方針が理解されるように努めています。
- ・登園時に子どもの体調や家庭での様子を確認し、降園時には園での子どもの様子を伝え、連絡を密にしています。引継ぎノート、職員ボードを活用して、子どもの様子、体調やけがを職員間で共有し、どの職員でも伝えられるようにしています。
- ・1～2歳児には個人ノートで家庭と園との子どもの様子を毎日きめ細かく伝え合っています。3～5歳児にはクラスノートで毎日のクラスの様子を伝えています。
- ・個人面談は年1回実施し、期間を設けて保護者の都合に合わせて行っています。また、保護者の希望があれば、随時面談を行っています。
- ・クラス懇談会は年度当初と年末に年2回行い、子どもの日々の生活や遊びの様子を伝えています。
- ・保護者の相談は事務室に会議中の札を下げて、プライバシーが守られる中で相談できるように配慮しています。相談内容によって担任と主任、あるいは園長や主任が対応しています。
- ・相談内容は面談記録に記録し、継続してフォローできるようになっています。
- ・園だよりを毎月、給食だよりを2か月ごとに発行し、園の保育活動の様子を知らせています。
- ・年度当初に年間の行事予定表を保護者に配布し、保護者が行事に参加しやすいよう配慮しています。
- ・保育参加については、乳児は保護者の希望日に合わせて、幼児は園で日程を決めて実施しています。
- ・保護者会があり、「子どものためにお互いに協力し合う」という姿勢をとっています。保護者会主催で移動動物園を開催してもらいました。



## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援事業として交流保育、育児講座、園庭開放を行い、参加者から施設に対する要望を把握するようにしています。</li> <li>・港南区子育て支援拠点「はっち」に年3、4回実行委員として参加し、また、港南区子ども家庭支援課主催の子どもフェスティバルに参加して地域の子育て中の親対象に育児相談や育児講座を行い施設に対する要望を聞いています。</li> <li>・港南区幼保小連絡会に参加して、地域の子育てニーズの把握に努めています。</li> <li>・職員会議で年間行事計画を決める際、今年度の子育て支援をどうするかの中で、子育て支援ニーズについて話し合っています。</li> <li>・月から金のAM10時～11時まで園庭開放をおこなっています。園長、主任が対応していますが、育児相談に発展することもあります。また、交流保育では泥んこで遊ぼう、プール開放、運動会ごっこを実施しました。</li> <li>・育児講座は12月に「親子でクリスマス飾を作しましょう、ふれあい遊び」を実施しました。</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の専門性を生かして、園庭開放や交流保育、園見学时に育児相談を実施しています。</li> <li>・園から地域に対するお知らせとして、運動会やお楽しみ会などの園からのお知らせはポスティングしています。</li> <li>・相談内容に応じた地域内関係機関（リストは事務室に掲示）との窓口は園長が担当し、日常的に港南区役所の子ども家庭支援課ケースワーカーや福祉保健センター保健師、生活保護ケースワーカー、港南療育センターと連携を取り、得た情報は職員間で共有しています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、おたのしみ会、新年会などの行事開催時には、近隣の住民をチラシ持参で訪ね、来園のお誘いをしています。</li> <li>・自治会の管理下にある上永谷第二公園の清掃と植物の管理を園で行っており、港南区公園愛護会のメンバーと花苗事業（公園に花植え）や公園の清掃などを通し交流しています。</li> <li>・地域の小学校からの案内で、年長児は学校訪問探検や小学1年生との交流会に参加しています。また、毎年、近隣の東永谷中学校の職業体験を受け入れています。</li> <li>・毎週月曜日から金曜日まで、AM10時～11時の間園庭開放を行っており、夏季期間はプール開放も行っています。</li> <li>・日常的に、散歩で地域の人に挨拶をし、花の苗やクッキングの食材購入を保育に取り入れ、お店屋さんの人たちと接する機会を設けています。また、年長児が消防署の見学をし、港南区図書館を利用しています。</li> <li>・近隣の保育園とは音楽会に誘われたり、プール遊びに誘うなど日頃から交流り、港南区公園愛護会主催の花苗交換会や植え方講習会などに参加し、公園愛護会との交流があります。</li> </ul>

#### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



・園のパフレットを港南区子ども家庭支援課に置いています。設置法人のホームページには、園の情報と保育の様子を写真でわかりやすく掲載し、また、外部の情報誌「NPO法人ちゅうりっぷ」の保育園特集号に園の基本情報を掲載しています。

- ・問い合わせに対しては園長と主任が対応し、園のパフレットに基づいて、基本方針や利用条件・サービス内容等について詳細に説明しています。利用希望者から問い合わせがあれば、見学できることを案内しています。
- ・見学日は園の保育に支障をきたさないようにし、子どもが園で過ごす様子が見られる午前中を勧めています。見学者の都合に合わせています。

#### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



・「ボランティア受け入れマニュアル」があり、それに基づき守秘義務をはじめ園の方針や子どもたちへの配慮事項などをオリエンテーション時に伝えています。昨年8月、高校生に保育補助の手伝いをしてもらいました。

- ・受け入れ担当は園長、主任で、受け入れ記録も整備されています。ボランティア終了時に反省会を行い、意見や感想を聞き、必要なことは園運営に反映しています。
- ・「実習生受け入れマニュアル」があり、マニュアルに基づき、園の受け入れ方針や実習内容、子どもへの配慮について説明しています。
- ・受け入れにあたり、職員に受け入れの考え方、方針、留意事項などを説明し、保護者には園内掲示板で知らせ、子どもたちにも伝えています。
- ・実習生の受け入れと育成を主任が担当し、実習生提出の誓約書や受け入れ記録が整備されており、実習日誌を提出してもらっています。
- ・毎日、実習クラス担任は実習生と日々の反省を行い、疑問などに答える時間を持っています。また、全実習終了前日、関わりのあったクラス担任に主任を加え実習反省会を行い、実習生のみならず、職員の振り返りの機会としています。

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

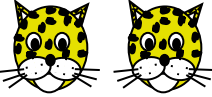


評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 259 501 293"><b>V-1 職員の人材育成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置法人の人材育成計画は、保育実践に必要な専門的知識・技術、組織としての社会性・協調性や指導力などを階層別に策定しています。</li> <li>・ 職員は資質向上のための目標を定め評価シートを作成し、園長が全職員と面談を行い、目標設定と振り返りについて助言、指導しています。</li> <li>・ 常勤職員は初任者研修、各年齢別研修、中堅研修、主任研修などの法人研修を受講しています。非常勤職員も参加する園内研修として「人権について」「ケガや感染症の対応」「防災」など現状に即したテーマを選び実施しています。</li> <li>・ 外部研修は主任が研修内容をチェックして選定し、希望者が参加する体制をとっています。</li> <li>・ 初任者研修、各年齢別研修、中堅研修、主任研修などの法人研修が行われています。非常勤職員も参加する園内研修として「人権について」「ケガや感染症の対応」「防災」などを行っています。</li> <li>・ 外部研修は主任が研修内容をチェックして選定し、希望者が参加する体制をとっています。</li> <li>・ 研修受講後は、研修報告を作成し、職員会議もしくは昼礼で報告し、レポートを回覧することで、全職員が研修受講内容の情報を共有しています。</li> <li>・ 非常勤職員も、常勤職員と同じ各種業務マニュアルを見ることがなっています。</li> <li>・ 各クラスの保育は、保育経験などを考慮し、常勤職員と非常勤職員の組み合わせに配慮して行われています。</li> <li>・ 非常勤職員の指導は主任が担当しており、園内情報の伝達が欠けることのないように配慮しています。</li> </ul>
評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 1229 528 1263"><b>V-2 職員の技術の向上</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は週案実施計画を振り返り、その内容を月次レベルでまとめ指導計画書の自己評価欄に記入しています。これらの内容を職員会議で報告、発表し、意見交換の中で課題を見出し、次月の指導計画に反映しています。</li> <li>・ 設置法人の園長会で得た他園の改善事例や工夫点を持ち帰り、職員会議や昼礼で話し合い、保育サービスの向上につなげています。</li> <li>・ 横浜港南地域療育センター職員による巡回相談や港南区福祉保健センターの保健師などから、障がい児や配慮の必要な子どもへの保育について指導を受けています。</li> <li>・ 職員は日々の活動の振り返りと気付き、評価を記録しており、計画で意図したねらいと関連付けて行われています。そのうえ、毎月の職員会議で自己の保育実践を振り返り、次月の計画に反映しています。</li> <li>・ 今年度、第三者評価を受審し、全職員が自己評価に組み込みました。日頃の保育サービスを振り返り、話し合いを繰り返すことで、園としての課題が明らかになりました。園としての自己評価の公表は今後の課題としています。</li> </ul> <p data-bbox="719 1794 943 1827">&lt;コメント提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園としての自己評価結果について、園だよりなどで公表することが望まれます。</li> </ul>

**V-3 職員のモチベーションの維持**



- ・経験年数、能力に応じた役割が期待水準として職務分担表に明文化され、職員に周知しています。
- ・園長は可能な限り現場職員に権限を委譲し、職員一人一人が責任をもって業務に取り組めるようにしています。解決できない課題は報告させています。
- ・職員からの業務改善提案や意見は、職員会議や日常的に募り、会議で検討し、業務改善に結びつけています。
- ・園長は職員、非常勤職員と個別面談を年1回行い、職員の満足度・要望などを把握しています。

**評価領域VI 経営管理**

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人の就業規則で職員が守るべき倫理規律や服務規律を規定し、職員ハンドブックに社会人としての基本、勤務心得などを明文化しており、職員は入職時研修で理解しています。</li> <li>・設置法人のホームページに経営・運営状況（貸借対照表、事業活動計算書など）を公開しています。</li> <li>・設置法人の園長会議で報告される他園の事故事例を職員会議で話し合い、自園に置き換え、未然防止策を策定しています。</li> <li>・ゴミの分別やごみの減量化を行い、コピーでの裏紙使用、牛乳パックや菓子の空箱、卵のケースなどを集め工作の材料に使うなど環境への配慮に取り組んでいます。</li> <li>・子どもたちに節電や節水、ゴーヤのカーテン作りまた廃材を利用した製作などを通して、資源の大切さや環境への配慮の必要性を伝えています。</li> <li>・環境への考え方は職員ハンドブックの中に「エコ活動」として明文化しています。園舎内に「節電アクション実施中」「スイッチをつけた方は退出時消してください」の張り紙を貼り、省エネ・リサイクルなどの取り組みを推進し保護者にも呼び掛けています。</li> </ul>
<p><b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・基本方針、園目標を玄関に掲示し、また、理念・基本方針、就業規則などを記載した職員ハンドブックを入職時に配付し、年度初めに園長が詳しく説明しています。職員は毎月の指導計画作成時に、理念、基本方針、園目標を確認し、それらに沿った計画を策定しています。</li> <li>・重要な意思決定にあたり、園長は保護者と保護者会やクラス懇談会で意見を交換しています。重要な意思決定（変更）がなされた場合、目的・理由・経過などを職員には職員会議で、保護者には懇談会や個別に文章を配布し説明しています。</li> <li>・主任は個々の職員の業務状況、家庭の事情、健康状態などを把握し、それに合わせたシフトを作成しています。また、主任は職員から相談を受け、的確な助言や指導を行うとともに園長と職員のパイプ役もになっています。</li> </ul>
<p><b>VI-3 効率的な運営</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営に係わる情報の集積・分析は設置法人で行い、園長会議を通して各園に伝達しています。また、園長は港南区幼保小教育交流事業連絡会議で、保育園に関わる情報を収集・分析しています。</li> <li>・重要な情報は主任と相談し、必要なものは職員会議で職員に伝え共有しています。</li> <li>・中・長期計画を策定し、「一時保育の実施」「園舎の改造」「第三者評価の受審」「財務体質の強化」などを目標に掲げ順次取り組んでいます。</li> </ul>

# 利用者家族アンケート

事業所名：上永谷保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数71名、全保護者63家族を対象とし、回答は47家族からあり、回収率は75%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収した。

### 【特徴の記述】

#### ◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、満足回答が60%、どちらかと言えば満足回答が30%で、満足度は90%でした。

#### ◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 問4項目の 子どもが戸外遊びを十分しているか 満足度96%
- 2) 問4項目の 遊びを通して友達や保育者との関わりが十分持てているか 満足度96%
- 3) 問4項目の 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて 満足度98%
- 4) 問7項目の あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか 満足度100%

#### ◇ 比較的満足度の低い項目

- 1) 問3項目の 年間の保育や行事についての説明は 83%
- 2) 問3項目の 年間の保育や行事に、保護者の要望が生かされているか 79%
- 3) 問5項目の 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については 75%
- 4) 問6項目の 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報提供は 83%
- 5) 問7項目の 意見や要望への対応については 83%



## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	13%	57%	11%	19%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	79%	21%	0%	0%	0%	0%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	57%	26%	0%	0%	13%	4%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	55%	32%	2%	0%	11%	0%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	43%	43%	6%	2%	6%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	57%	34%	0%	0%	9%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	62%	34%	2%	0%	2%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	58%	34%	4%	2%	2%	0%
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	43%	40%	9%	2%	4%	2%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	36%	43%	9%	4%	6%	2%
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	74%	19%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	81%	15%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	64%	30%	4%	0%	2%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	66%	32%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	53%	43%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	57%	41%	2%	0%	0%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	66%	23%	7%	0%	2%	2%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	66%	26%	4%	2%	0%	2%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	58%	36%	4%	0%	0%	2%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	60%	25%	2%	4%	7%	2%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	60%	21%	4%	0%	8%	7%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについて は	66%	30%	2%	0%	0%	2%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	60%	25%	7%	2%	2%	4%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	26%	36%	28%	6%	2%	2%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	47%	40%	9%	2%	0%	2%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	30%	45%	17%	6%	0%	2%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	49%	43%	6%	0%	0%	2%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	51%	36%	9%	0%	2%	2%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	60%	34%	4%	0%	0%	2%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	56%	36%	4%	4%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	53%	30%	7%	6%	0%	4%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	53%	34%	9%	2%	2%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	64%	25%	9%	0%	2%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	62%	30%	2%	4%	2%	0%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	62%	34%	2%	0%	2%	0%
その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	62%	38%	0%	0%	0%	0%
その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51%	25%	4%	0%	13%	7%
その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	64%	25%	7%	2%	2%	0%
その他:						
意見や要望への対応については	53%	30%	13%	2%	0%	2%
その他:						

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	60%	30%	8%	2%	0%

# 観察方式による利用者本人調査

平成 27 年 11 月 13 日、26 日

事業所名：上永谷保育園

## 【1 歳児】

### <園庭での活動>

1 歳児が園庭に出てきました。2 歳児の種まきの様子を興味深そうに畑の周りで見ていました。職員に「種を蒔いてみよう！」種まきに挑戦です。小さな種をもらい、小さな穴に入れていきます。種を蒔く畝に入ってしまった職員にだっこしてもらい、泥をはたいてもらう子もいました。もらった種を穴に入れていました。

種まきが終わるとスコップを持ちだし、砂遊びが始まりました。子どもたちと職員は穴を掘ってバケツに砂を入れてひっくり返して、山を作っています。お茶碗や器に砂を入れて、プリンを作ったりして遊んでいました。

タイヤがたくさん置かれているところでタイヤを重ねてお風呂にして遊んでいます。「タイヤは重ねるのは3つまでですよ」と職員に言われて3つ重ねてお風呂にし、変わりばんこにタイヤのお風呂に入っています。

園庭に音楽が流れると、子どもたちは音楽に合わせて踊り出しました。

## 【2 歳児】

### <かぶの種まき>

子どもたちは園庭の畑の前に一列になっています。

職員から「種を食べてはいけません。」と説明を受けていました。職員が「おいしいね。むしゃむしゃ」と食べる真似をすると、子どもたちは手を×にして、「食べてはダメ」と口々に言っています。「そうだね。食べてはいけないんだよね」と職員からの注意が終わると子どもたちは、手を出して、手に4、5粒種をもらっています。まず職員が見本を見せて種を蒔きます。子どもたちは職員があけた穴に順番に、種を入れていきます。小さな種を4、5粒ずつ入れています。指の間から落す子もいます。落した小さな種を見つけて、また小さな穴に入れていきます。職員から「お布団をかけましょうね。」と声をかけられて、少し土をかけていました。

みんながかぶの種まきが終わると次は赤い色の二十日大根の種まきです。二十日大根の種をもらい、種まきをしました。



## <食事>

配膳の準備をしている間に「今日のかぶの種を蒔いたから、大きなかぶを読みましようね」と職員が言って大きなかぶのエプロンシアターがはじまりました。エプロンから大きなかぶが出てきました。おじいさん、おばあさん、孫、ワンワンが次々に出てきました。おじいさん、おばあさん、孫、犬みんなで「うんとこ どっこいしょ！」とかぶを抜いています。どの子も一生懸命見えています。

子どもたちは3つのテーブルについて 配膳を待っています。ごはん、豆乳とほうれん草のスープ、カジキマグロのおさかな、もやしと人参の和え物が配られます。

「〇〇ちゃん、食べられる？減らしますか」と声をかけ、減らしてもらって食べ始めました。「お味噌汁にお芋が入っていない！」と言っている子、「入っているよ！」と言う子、ほうれん草を食べると隠れていたらしく「お芋が出てきた！」と以前にお芋ほりをしたからかお芋が大好きな様子でした。「赤カブが入っていない！」と言ってる子に「今日種を蒔いたばかりでしょう。すぐにはできないよ」と職員が答えていました。

子どもたちはスプーンとフォークを使って上手に食べています。調査員と一緒に興奮したらしく、いつもよりも早くたくさん食べている子には「〇〇ちゃん、大丈夫。ゆっくり食べようね」と声をかけられていました。

## <排泄>

1歳児さんがお昼寝をしているので 子どもたちは 静かに少し遠いトイレに行きます。トイレでは職員が見守っています。子どもたちは 自分でパンツを脱いで トイレに座っています。

トイレが終わると 部屋に戻ってパジャマを自分で出し、着替えています。職員に手伝ってもらう子、 着やすいように服を並べてもらって、着替える子、足を入れるところまで手伝ってもらう子、できるところまで自分でやっています。脱いだ洋服を何度もたたみなおす子もいますが 職員はそばで見守っていました。

## 【3歳児】

### <食事>

二つのテーブルに子どもたちが付き、カレーライスを食べています。みんな元気に話をし、にぎやかに楽しそうにお話をしながら食事をしています。隣のテーブルからも元気な声が行きかかってました。サツマイモのカレーです。サツマイモ堀の話をしてくれる子もいました。お父さんがカレーを作ってくれると

話してくれる子もいました。

## 【4歳児】

### ＜食事＞

今日はみんなの大好物、カレーです。当番の子どもが配膳を済ませると、メニューの発表です。サツマイモのカレーの言葉を聞くとあちこちから「やったー」の歓声が上がりました。みんなで「いただきます」のあいさつをして食事が始まりました。調査員が座った右隣の子どもが、同じテーブルの子どもたちの名前を教えてくださいました。なかなか覚えられなくて、何度か間違えているうちにすっかり打ち解けて、話が弾みました。

人気メニューだったこともあり、食も進み、用意されていたおかわりもあっという間になくなりました。

### ＜歯磨き・着替え＞

決められた時間を過ぎた時点で、食事が済んだ子どもから歯磨きが始まります。終わった子どもはパジャマに着替え、本を読んだりブロック遊びやお絵かきなど、思い思いの過ごし方をしながらお昼寝が始まる時間を待っていました。

## 【5歳児】

### ＜お楽しみ会の練習＞

12月のお楽しみ会の出し物の練習が始まりました。クラスを3つに分けて「世界中の子どもたち」「カレーライス」「いもほり遠足」を発表するようです。

「カレーライス」は夏のお泊まり保育で、みんなで作って美味しく食べたことを知ってもらおうと子どもたちがテーマに選びました。

今日はセリフの練習です。台本のプリントが各チームに配られ、順番に自分のセリフを言います。カレーチームは仕切り役の子どもがいて、台本を見ながら「最初は〇〇ちゃんだよ」とスムーズに始まりました。他のチームはなかなか始まりません。頃を見計らって職員がきっかけを作ってあげ何とか始まりました。

今日の仕上げとして、各チームがみんなの前で発表します。自分のセリフをしっかり覚えている子どもや、職員に促されていう子こども、セリフを耳打ちしてもらいながら言う子供と様々です。自分のセリフを言い終わるとどの子もほっとした顔をしています。

### ＜自由遊び＞

楽しみにしていた自由遊びの時間です。思い思いのコーナーに散らばりました。机にはオセロゲームを始めた子ども、トランプで遊ぶグループ、お絵かきをしている子どもがいます。本コーナーの前に陣取り図鑑に見入っている子どももいま

す。小さなブロックコーナーでは、ロボットやレースカー、ピストルなどを黙々と組み立てています。調査員がロボットを作っている子供に「もうじき給食の時間だけど組み立て終わるの」と聞いてみると、棚のある場所に連れて行ってくれ、製作途中の物は自分のシールを貼って置いておけばまたあとで続けられることを説明してくれました。そこにシールを貼って置いてあった未完成の車を手に取り、「これは□□ちゃんのだよ」と説明してくれている最中に落としてしまいました。近くにいた子どもが大きな声で「あ、壊れた」と叫びました。子どもたちの視線が一斉にこちらに向きます。たまたま作った子どもがそばにいて、「なおすからいいよ」と落とした子どもに声をかけ、その子どもがホッとしています。職員も周りの子どもも笑顔になって、また遊び始めました。

### <食事>

今日の給食は、ごはん、豆乳とほうれん草のスープ、カジキマグロのおさかな、もやしと人参の和え物です。当番の3人がジャーからご飯をよそい、おかずを大皿から見本を見ながら盛付けし、みんなに配ります。配膳が終ったところで、「食器の位置は大丈夫ですか？」の当番の声に壁に貼ってある見本と見比べ子どもたちが確認し、みんなで「いただきます」のあいさつを元気よくして、食事が始まりました。

初めの頃は、みんな静かに食べていましたが、友達との会話が始まり、家庭での話、家族の話が始まり賑やかに楽しんで食べています。調査員と同じテーブルの子どもたちは、夏のお泊まり保育で、みんなで作ったカレーがとてもおいしかったこと、打ち上げ花火がきれいだったことを話してくれました。

## 事業所意見

上永谷保育園

### 【受審の動機】

上永谷保育園は、平成25年4月に横浜市の民間移管を受託して、園名も「横浜市上永谷東保育園」から、「上永谷保育園」として開園しました。移管後3年目を迎え、園児や保護者の皆様に戸惑いや不安がなく確実に保育が引き継がれているかどうか。又、上永谷保育園としての保育内容について第三者機関の方々の公正な目を通してどのように見えるのか、感じられるのかを検証をして頂きたく受審しました。

### 【評価に取り組んだ感想】

今回第三者評価を受審することにあたり、全職員が自己評価を実施しました。

実施にあたり、一つ一つの項目に対しての受け止め方について話し合い、確認し合いました。

全職員が同時期に保育を振り返り、保育を見直す事や保育園の運営方針・理念・保育園の今後の方向性を確認する良い機会を持つことができました。

同時に、保護者の皆様のアンケート集約では、移管後の保育内容についても高い評価を頂き保育に対して、ご理解頂き、支えてくださっていることを嬉しく感じました。

### 【評価後の取り組みについて】

これからも保護者の方への理解と共感を得られるように努め、信頼され愛される保育園作りを目指していきます。

子育ての自然環境豊かな立地条件を活かし、今後も地域に根ざした保育園として人と人との絆を大切に、子どもの最善の利益のため子どもの育ちをサポートする保育園・保育者集団となるように保育の向上に努めます。